

どうとくのひろば



本年度も道徳だより「どうとくのひろば」を発行します

新年度がスタートして早いもので一ヶ月が過ぎようとしています。当初の緊張感も和らぎ、教室には落ち着いた中にも活気ある空気が流れています。新しいクラスメイトや先生との生活が日常のものとなり、子供たちは学級の一員としての役割を自覚し、自分たちの居場所をしっかりと築き始めています。

朝の会で自分の考えを堂々と発表する姿や、授業で仲間の意見を丁寧に受け止めながら思考を深める姿、そして休み時間に学年の垣根を越えて元気に遊ぶ姿。日々の生活のあちらこちらで、子供たちの主体的な成長が感じられ、頼もしく思う毎日です。こうした日々の積み重ねの中で、子供たちは自分の心と向き合い、他者の立場を想像する機会を増やしています。今年度も、子供たちが「思いやり」と「自分らしさ」を大切にしながら、自らのあり方を見つめていけるような道徳の授業づくりに邁進してまいります。

「どうとくのひろば」では、道徳の授業の様子や子供たちの心の成長をお伝えし、ご家庭とも連携しながら道徳教育を進めていきたいと考えています。道徳教育に関するご意見やご感想も、ぜひお寄せください。

附属坂出小学校の道徳の授業で大切にしていること

毎年第1号では、本校の道徳教育の指針をお伝えしています。道徳教育は、子供たちが未来を切り拓き、よりよく生きていくための「道徳性」を養うことを目標としています。そのために、毎時間の授業では次の四つを大切にしています。

- ・道徳的に大切なこと（思いやり、正直、友情、謙虚さ、礼儀…）が分かる。
- ・自分らしさを実感したり、自分の課題を見つけたりする。（よさに気付くことが大切です！）
- ・友達と話し合うなどして、いろいろな考え方に会ったり、物事をいろいろな角度から考えたりする。
- ・自分はこれからこうしていきたいという「自分の生き方」について深く考える。

道徳科の評価について

道徳では、子供たちの心の変化や成長の様子を温かく見守ることを大切にしています。数値による評価は行わず、ノートの記述や授業での発言、日常の行動から一人ひとりのよさや課題を捉え、励ましの言葉を伝えています。毎掲載している内容に関して、保護者の方の考えを語っていただいたり、お子さんの思いや考えに耳を傾けていただけたらと、気付きや学びがより深まります。成長の喜びを、学校と家庭で共に味わっていただけると願っています。

最後に

子供たちの迷いや失敗は、すべてが大切な「学びの種」です。失敗を恐れずに自分を出し、何度でもやり直しながら心を大きく育てていけるよう、学校と家庭が力を合わせて支えてけたらと思います。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

----- 切り取り -----

道徳だよりへのご質問・ご感想

() 年 () 組 児童名 ()

感想や、お子さんとどのような話をされたかなど、一言でも構いませんので教えていただけるとうれしいです。今後の授業づくりの参考にさせていただきます。



